

「藤沢地区郷土づくり推進会議」広報紙

# 明日を創る

発行 藤沢地区郷土づくり推進会議  
事務局 藤沢公民館  
電話 0466-22-0019  
FAX 0466-22-0293

ごあいさつ 議長 廣瀬 宣昭



地域の皆様には、日頃より藤沢地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

「藤沢地区郷土づくり推進会議」(以下「推進会議」)の活動も5年目を迎え、地域の皆様からご意見をいただきながら、地域課題の解決に向けた取り組みや藤沢地区のまちづくり事業を進めてまいりました。

今後も皆様とともに、住みよいまちづくりに取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

## 平成29年度「郷土づくり推進会議」の活動について

**藤沢宿活性化政策提案「藤沢宿見える化」が着々と進んでいます。**

2016年2月に提出した「藤沢宿見える化」提案書をもとに、取り組んできた“「藤沢宿」まちづくり”では、藤沢橋エリアの電柱地中化に伴い、歩道の第一期工事が完了し、今後、市民病院入口付近まで整備されます。

また、夏季散策者の負担軽減を図ることを目的に、妙善寺～白旗横町に通じる道路が「遮熱舗装化」されました。更に“藤沢宿を大切にしよう”と表示された「藤沢宿フラッグ」を本町白旗商店街振興組合のご支援によって街灯ポール38基に掲出しました。



**「西富憩いの森」再整備が進んでいます。**

2016年8月に市長へ提出した「西富憩いの森充実の提言」により、2年にわたり政策提言に沿って取り組んでいただきました。主な整備内容は、階段・橋・ベンチの補修や手すり設置などの「安全対策」と「利便性の向上」を目的とした休憩スペース整備、駐輪場整備、生息する野鳥の説明看板の設置など実施していただきました。新年度、新たな入口看板の設置をもち整備終了となります。今後は「NPO 藤沢グリーンスタッフ」との連携等を考えていきます。

**伊勢山緑地整備等進んでいます。**

政策提言「藤沢本町駅と周辺整備」(2005年3月提出)計画に基づき、市道652号線拡幅工事(第3工区360m)が進められています。伊勢山緑地法面工事は終了し、バイパス下歩道工事も進められ、今後は、自転車専用通行帯設置、道路拡幅、電柱地中化が進められます。



### トランスボックスラッピング整備進んでいます。

藤沢駅北口にある藤沢商工会館（ミナパーク）周辺のトランスボックス10基にラッピングをしました。

この場所は駅や市役所に近く、「藤沢宿」へのスタート地点であることから「駅北口や市役所の懐かしい写真」や「藤沢宿にある神社仏閣や店蔵等の写真」をラッピングしました。散策時は、懐かしい風景を思い浮かべながら「藤沢宿」を楽しんでいただければと思います。

### 公民館まつりで取組を紹介しました。

推進部会・活動部会の取組を、公民館に掲示し多くの皆様にご覧いただきました。今回は台風の影響で1日のみの開催になりましたが、ご覧になった皆様から質問やご意見、賛同をいただきました。また寄せられたアンケートを含め、今後の取り組みに役立たせていただきます。

### 現公民館のあり方について研究しましょう。

新公民館が2019年4月に供用開始されることに伴い、現公民館は長い歴史を閉じます。

市の発祥地でありこの地の歴史を刻んできた現公民館です。こうした背景を踏まえて、今後のあり方について、皆さんと一緒に考え「政策提言」として提出したいと思います。

### 地域の祭り・イベントへ参加しました。

下記イベントへ模擬店を出店し、活性化支援と住民の皆さんとの交流を行いました。

- ・ 7月23日（日）「遊行の盆」
- ・ 10月21日（土）「藤沢公民館まつり」



鶏のドラム缶焼き（遊行の盆）

### 子どもの見守り活動を進めています。

昨年度に引き続き子どもの見守り活動として「こども 110 番」の検証を行いました。自治会・町内会の協力をいただき現地の状況確認等を実施し、「こども 110 番」に登録をいただいているお宅を掲載した「こども 110 番マップ」を各小学校区（藤沢、本町、大道、大鋸、大清水）毎に作成し各小学校に配布しました。防犯対策の一助としていただければと思います。

※「こども 110 番」制度とは

子どもが犯罪などから逃れるための緊急避難場所として、昼間に在宅されているお宅やお店に登録とプレート掲示をお願いするものです。



### 藤沢地区交通安全マップの検証をしました。

地区内の自動車、自転車の交通事故（人身事故）の発生箇所や種類などを示した「交通安全マップ」を検証しました。2013年から継続的に取り組み、データの蓄積をしています。交通事故に関する情報を地域で共有化し、安全・安心な町づくりの一助とします。また今年度は安全マップを参考に交通危険個所の現地調査を行いました。

## 由比宿・蒲原宿を視察しました！

藤沢宿活性化事業の参考とするため、2月22日委員12名で「街並み保存」や「まちづくりの住民参加」に取り組む「由比宿・蒲原宿」に行ってきました。

### ＜由比宿(16番目)静岡県静岡市＞

由比宿は本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠32軒と小さな宿場でしたが、交流館や広重美術館など近隣に観光資源が多く、桜えび館は観光バス駐車場を完備し、平日にも関わらず多くの観光客が訪れていました。綺麗に整備された本陣公園や交流館・美術館の維持管理は静岡市から委託を受けたNPO法人が運営し、イベントでは「小学生の版画年賀状」「フォトコンテスト」を開催していました。



### ＜蒲原宿(15番目)静岡県静岡市＞



蒲原宿は本陣1軒、脇本陣2軒、旅籠45軒で、国登録有形文化財の志田邸・旅籠・商家・名主の住宅が残っています。説明を担当していただいた志田 威(けい)氏は、NHK文化センター講師・東海道町民生活歴史館(蒲原宿)館主・東海道57次及び中山道67次交流館館長です。志田邸は東海道に唯一現存する江戸期のままの工場建屋

であり、米・塩・醤油などを扱う商家で、庭には赤い実をつけた万両・千両・百両・十両・一両がありました。

志田邸もNPO法人の運営です。東海道は京都までの53次ではなく大阪守口宿までの57次であるとの話も拝聴しました。

志田氏が、歴史を刻んできた貴重な建屋と昔のままに保存されている設備や家具や当時の資料、また倉庫を大切にしながら、まちの歴史を熱く伝承されていたこと、またNPOの方々による「まちガイド」では残されている街並みや家屋の特徴を熱っぽく案内されており、案内していただいた家屋保有者と一体となった施設保存と公開による散策者との相互会話を一生懸命されていたことが強く印象に残りました。

志田氏は本市「桔梗屋」さんを訪れ見学されたとのことで、これからも同じ様な歴史を残す取り組みをしている地域団体との連携活動が極めて大切と話され、各地との連携や講演に出かける取り組みをされておられるとのことでした。建物保存には現実として大変な費用と時間と手間が掛かり苦労している、貴重な施設保存と維持、歴史伝承を続けて行くとの熱い想いを語られたことは私達の「藤沢宿」への取り組みにも参考となる視察でした。

## 第7回まちづくり懇談会を開催しました！

2015年に「藤沢宿活性化」の取り組みを進めていくことを目的として、旧東海道沿いの商店や事業主、お蔵を保有されている方々、町内会長に集まっていただき「まちづくり懇談会」を立ち上げ、今年度は6月と1月に開催しました。

どのようにしたら歴史ある「旧藤沢宿」を守れるか、世代交代期における蔵等保有者の悩みや今後の展開を考え、町内会はじめ地域全員での情報や活動の共有策等を話しあい、この内容を踏まえた活性化事業をさらに進めていくことが話し合われました。今後も継続開催しますので皆様のご参加やご意見をお寄せ頂ければと思います。



## 第7回藤沢宿まつりに参加しました！



3月開催の「第7回藤沢宿まつり」では、大清水中学校の生徒による藤沢宿研究の報告と講話会や義経にまつわる「藤沢宿」まち歩き、街道沿いの商店事業所等の懐かしい写真パネル展、お蔵見学会（鎌田屋さん、関次商店さん、稲元屋さんの各お蔵を開放して頂きました）、草鞋づくり体験、県立藤沢清流高等学校美術部の皆さんの作品展示など、多くの皆様楽しんでいただきました。



稲元屋さん前での写真パネル展



関次商店さんのお蔵見学



草鞋づくり体験



大清水中学校の生徒による藤沢宿研究の報告